

戦争と平和のおはなし会 本江小学校

平成28年7月20日(水)に、本江小学校6年生を対象として「戦争と平和のおはなし会」を開催しました。

まず最初に、音と視覚から戦争の実相を捉えるため、原子爆弾の悲惨な被害を伝えるDVD「被爆の爪跡」を視聴しました。



次に、図書館の朗読ボランティア「おはなしを楽しむ会」の皆さんが朗読される被爆体験記や原爆詩を静かに聞きました。



新校舎の建設工事中で騒音がある中、とても辛く、悲しい内容の原爆詩や被爆体験記を聞き漏らさないように集中してお話を聞いていました。



長崎出身のおはなしを楽しむ会の方から、原爆が投下された後の当時の様子について説明してもらいました。



「原爆」の恐ろしい現実を知り、平和な社会の大切さを実感しているようでした。

今度は、自分たちの住む富山大空襲の被害について学び、被害にあわれた方の体験記を聞きました。



自分たちの住む富山県でも大変な被害を受けた空襲があったことを知り戦争を身近なことと捉えることができました

被爆地ヒロシマへ現職のアメリカ大統領として初めて訪問されたオバマ大統領の様子についての説明を受け、平和な世界を実現するために自分たちができることを思い描いている様子が見られました。



最後に、参加者全員で原爆詩を朗読してから、原爆や戦争で亡くなられた方のご冥福と世界の平和を祈り黙とうをささげました。



戦争と平和のおはなし会を終え、子どもたちから感謝の言葉を伝えてもらいました。また、おはなし会終了後には、会場に設置してある原爆被害のポスターや戦時中の資料を大変興味深く見ていました。

